

好評につきクリスマスに合わせて開催！

「SL大樹パーツラリー」を開催します！

～スタート地点は下今市駅構内SL展示館のほか、今回新たに日光街道ニコニコ本陣を設定しました！～

東武鉄道株式会社

東武鉄道では「つくる喜び」と「つどう楽しさ」の理念を基に活動をしている「あそびの学校」（千葉県流山市）と連携し、**2025年12月20日（土）に「SL大樹パーツラリー」を開催します。**

この企画は過去にGW期間や夏休みに実施し、ご参加いただいたお客様から大変好評をいただいているもので、今回は、下今市駅構内SL展示館と道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣（以下日光ニコニコ本陣）にスタート地点を設置し、お越しいただいた3歳から小学6年生までのお子さま先着200名を対象に「SL大樹パーツラリー」を開催します。

スタート地点で渡されるラリーマップに記載されたラリーポイントを巡ってパーツを集め、組み立てると全長約40cmの「SL大樹オリジナル小物入れ」が完成します。石炭庫のパーツが小物入れとなっており、ゴール地点でお渡しするクリスマスバージョンのオリジナルシールを貼って自分だけのデコレーションを楽しむこともできます。作りながら徐々に形が見えてくるので、完成した時の達成感が味わえるとともに、親子で一緒に楽しみながら作ることもできるので、コミュニケーションにも繋がります。

この機会に日光・鬼怒川エリアにご家族でお出かけいただき、SL大樹に乗車した思い出やクリスマスの思い出として「SL大樹パーツラリー」にご参加ください！

詳細は以下のとおりです。



▲「SL大樹オリジナル小物入れ」
完成イメージ



▲パーツラリー開催イメージ

1 開催日時

2025年12月20日（土） 10時00分～16時00分

2 受付時間

10時00分～15時30分

3 開催場所

下今市駅構内SL展示館、日光ニコニコ本陣

4 スタート地点・ゴール地点、ラリーポイント（全4箇所）

（1）スタート地点・ゴール地点

下今市駅構内SL展示館2階スペース、日光ニコニコ本陣 船村徹記念館内1階ホール

(2) ラリーポイント

S L 展示館内展示スペース（1 階および2 階）、日光ニコニコ本陣 船村徹記念館内1 階ホール

5 参加方法

- (1) スタート地点にて参加受付を行います。(下今市駅構内 S L 展示館 2 階スペースからスタートすると、ゴール地点は日光ニコニコ本陣となり、日光ニコニコ本陣からスタートすると、ゴール地点は下今市駅構内 S L 展示館 2 階スペースとなります。)
- (2) 受付時にお渡しするラリーマップに記載されたラリーポイントを巡りパーツを集めます。
- (3) ラリーポイントでパーツを集めてゴール地点へお越しください。ゴール地点で最後のパーツとオリジナルシールをお渡しします。集めたパーツを組み立てながらゴール地点に向かう事も可能です。
- (4) ゴール地点で受け取った最後のパーツを組み立てて「S L 大樹オリジナル小物入れ」を完成させて終了です。
- (5) ゴール地点で、当日の S L 大樹座席指定券または車内で配布する記念乗車証をご提示いただくと、先着 1 0 0 名に S L 大樹パーツラリー参加証として、「オリジナル缶バッジ」をプレゼントいたします。

6 注意事項

- ・必ずスタート地点で受付を行い、S L 大樹パーツラリーのラリーマップを受け取ってからスタートして下さい。
- ・各パーツの配布につきましては、ラリーマップをお持ちのお子さまのみとさせていただきます。ラリーマップをお持ちでないお子さまにはお渡しできません。
- ・参加対象につきましては、安全面を考慮し、3 歳から小学 6 年生までのお子さまとさせていただきます。
- ・参加人数につきましては、先着 2 0 0 名とさせていただきます。
- ・S L 大樹パーツラリーへのご参加は、お一人様 1 回とさせていただきます。
- ・パーツの配布は、ラリーポイント以外では配布いたしません。
- ・パーツラリーの参加費は無料ですが、参加に伴う電車の運賃等につきましてはお客様の負担とさせていただきます。また、下今市駅構内 S L 展示館への入場は、乗車券または下今市駅の入場券が必要です。
- ・下今市駅には駐車場、駐輪場のご用意はありません。
- ・受付時の混雑状況により、パーツラリーへの参加を暫くお待ちいただく場合がございます。
- ・荒天等により開催を中止させていただく場合東武鉄道公式ホームページおよび S L 大樹公式ホームページのお知らせ欄にて告知いたします。

< 参 考 >

「あそびの学校」について

あそびの学校は 1 9 8 1 年創設されワークショップとして日本で一番歴史が古く、総参加者数は約 4 5 0 万人以上の実績があります。子ども達の主体性を認め、学校でもなく家庭でもない第三のコミュニティの場をつくることを目的としています。一緒に関わり合いながら「つくる喜び」と「つどう楽しさ」の体験を通して、子ども達が成長していくことを願っています。



あそびの学校 HP

以 上